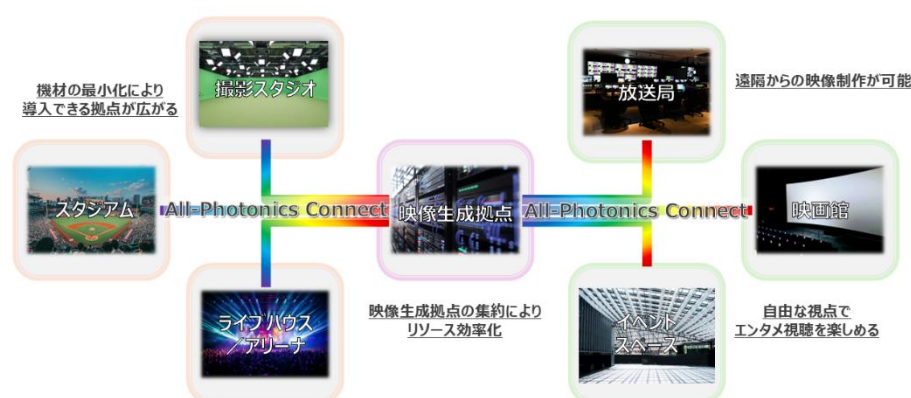


# NEWS RELEASE

## All-Photonics Connect powered by IOWN を活用した ボリュメトリックビデオシステムの新たな活用シーンの創出に向けた協業を開始

キヤノン株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役会長兼社長 CEO：御手洗 富士夫、以下「キヤノン」）と、NTT 東日本株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：澁谷 直樹、以下「NTT 東日本」）は、NTT 東日本の次世代通信基盤「IOWN<sup>※1</sup>」におけるオールフォトリクス・ネットワークを活用した All-Photonics Connect powered by IOWN（以下「All-Photonics Connect」）<sup>※2</sup>とボリュメトリックビデオシステムによる新たな映像体験の創出に向けて協業し、2026 年 1 月より技術検証を開始しました。フレキシブルなボリュメトリックビデオシステムの構築を実現することで、さまざまな場所へ新しい映像体験・エンターテインメントの提供をめざします。



All-Photonics Connect を活用したボリュメトリックビデオシステムの将来像

### 1. 背景

キヤノンはこれまで、撮影から映像生成までをリアルタイムに行うことができるボリュメトリックビデオシステムを、スポーツ中継や音楽ライブ配信など幅広い用途で提供してきました。一方、NTT 東日本は高速・大容量・低遅延という特徴を持つ All-Photonics Connect を 2024 年 12 月より提供開始し、IOWN の社会実装に向けた取り組みを進めています。ボリュメトリックビデオシステムは、約 100 台のカメラで同時に撮影した映像から空間全体を 3D データ化する技術であり、映像生成や配信の過程で大容量のデータを扱います。また、自由視点映像のカメラワークを滑らかにするためには、低遅延かつゆらぎのない通信が重要です。こうした特性から、All-Photonics Connect との掛け合わせにより新たなエンターテインメントの提供ができると考え、協業を開始しました。

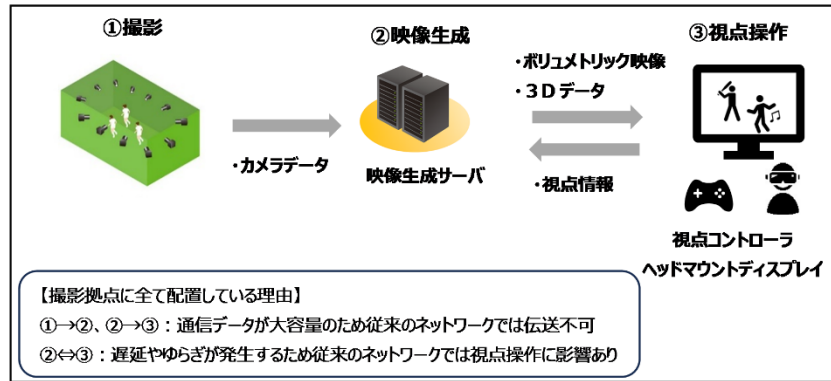
### 2. 取り組みの概要

従来は撮影拠点でカメラデータ処理から視点操作・映像生成までの全ての工程を実施してきました。本協業では、撮影拠点、映像生成拠点、視聴拠点をそれぞれ All-Photonics Connect で接続します。All-Photonics Connect により既存回線では伝送が困難な大容量のカメラデータを伝送し、視聴拠点からの自由視点操作において映像と視点情報を遅延やゆらぎなく処理するための検証を進めていきます。

これを実現することで、撮影拠点に集約していた各機能を分散することができ、自由度の高いボリュメトリックビデオシステムの提供が可能となります。

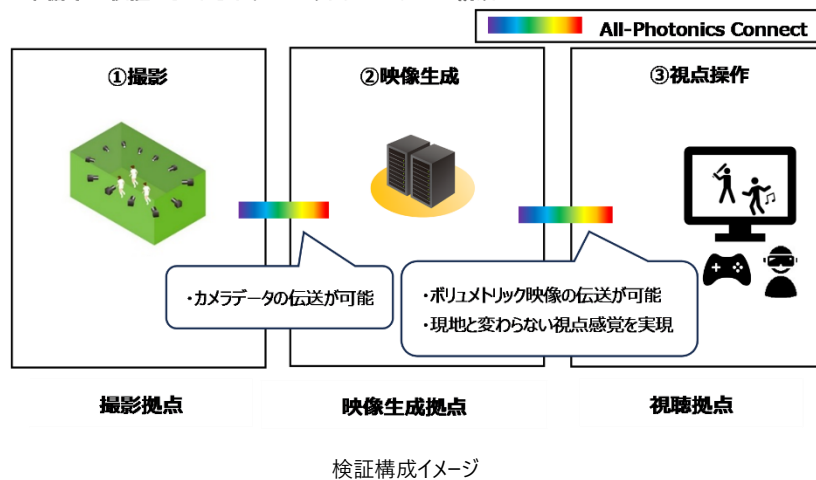
また 2026 年 1 月 28 日（水）に NTTe-City Labo<sup>※3</sup>で開催される NTT 東日本「地域ミライ共創フォーラム」にて、遠隔地からの映像視聴や自由視点操作を体験できる展示を実施します。

## ■従来のポリュメトリックビデオシステムの構成



撮影拠点（スタジオやカメラ設置済みのイベント会場）

## ■本協業の検証におけるポリュメトリックシステムの構成



## 3. 各社の役割

キヤノン	ポリュメトリックビデオシステムの提供
NTT 東日本	All-Photonics Connect 利用環境の提供

## 4. 今後の展望

本協業により、撮影場所にとらわれず、遠隔地からでもポリュメトリックビデオの生成・視聴・操作が可能になります。これにより、撮影拠点（スタジアム等）に映像生成サーバを持ち込む必要がなくなり、機材配置の最適化によるコスト削減が期待できます。さらに、視聴者は遠隔地でもポリュメトリック映像を視聴・操作でき、好きな角度や視点から楽しむ新しいエンターテインメント体験が可能になります。

両社は今後も協力し、ポリュメトリックビデオと All-Photonics Connect の連携によって、これまでにない映像体験・エンターテインメントの創出をめざしてまいります。

## 5. 本件に関するお問い合わせ先

各サイト内の「お問合せフォーム」よりお問い合わせください。

キヤノン株式会社

イメージング事業本部 I M G 3 2 事業推進センター

<https://global.canon/ja/vvs/>

NTT 東日本株式会社

ビジネス開発本部 クラウド＆ネットワークビジネス部 IOWN サービス担当

<https://business.ntt-east.co.jp/content/iown/>

- ※1 IOWN（Innovative Optical and Wireless Network の略、アイオン）とは、あらゆる情報を基に個と全体との最適化を図り、光を中心とした革新的技術を活用し、高速大容量通信ならびに膨大な計算リソースなどを提供可能な、端末を含むネットワーク・情報処理基盤の構想です。  
<https://www.rd.ntt/iown/>
- ※2 オール・フォトニクス・ネットワーク（All-Photonics Network）とは、通信ネットワークの全区間で光波長を専有する通信サービスです。NTT 東日本は、2023 年 3 月にオール・フォトニクス・ネットワークである APN IOWN1.0 の提供を開始し、2024 年 12 月には最大 800Gbps の「All-Photonics Connect powered by IOWN」の提供を開始しました。  
[https://www.ntt-east.co.jp/release/detail/20230302\\_01.html](https://www.ntt-east.co.jp/release/detail/20230302_01.html)  
[https://www.ntt-east.co.jp/release/detail/20241118\\_01.html](https://www.ntt-east.co.jp/release/detail/20241118_01.html)
- ※3 NTTe-City Labo とは、地域の課題解決に向けて NTT 東日本グループが取り組むソリューションを体感できる施設です。本施設に IOWN Lab を 2024 年 1 月 24 日に開設し、IOWN のユースケース創出に向けて、さまざまなパートナーと共同実証実施しています。  
[https://business.ntt-east.co.jp/content/regional\\_revitalization/labo/](https://business.ntt-east.co.jp/content/regional_revitalization/labo/)  
<https://business.ntt-east.co.jp/content/iown/iownlab/>